

SOX 療法

(テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム配合錠＋オキサリプラチン)

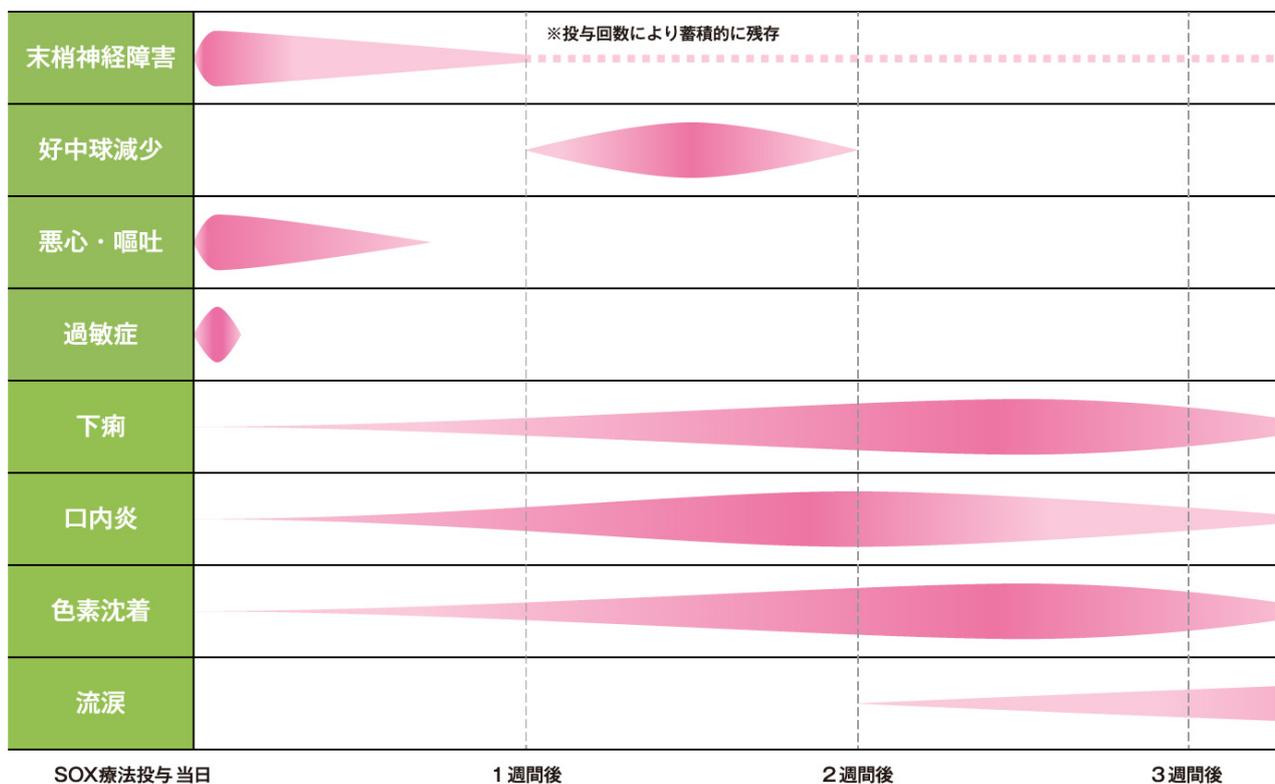
通常 21 日を 1 クールとして、day1 にオキサリプラチンの点滴を行い、day1-14 の 14 日間 S-1 を内服、7 日間休薬となる治療法です（中等度催吐リスク）。
胃がんや大腸がんに対して用いられる治療法です。

【投与方法】

薬剤名	投与量	投与方法 投与期間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	~	21
テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム配合剤	80-120mg/日	経口 1日2回 (朝食後・夕食後)	→																
オキサリプラチン	100,130mg/m ²	点滴静注 2時間	●																

21 日を 1 サイクルとして繰り返す

【主な副作用症状と好発時期】



《服薬指導ポイント》

- 末梢神経障害…投与直後から2日以内に生じる一過性の症状です。四肢末端、口やその周囲のしびれ感や感覚異常が85～90%の患者さんに現れます。寒冷刺激により増悪するため、冷たい飲料、エアコンの風などを投与直後から5日間は避けるように指導を行ってください。
- 好中球減少…day7-14頃に出現し、自覚症状はありません。易感染性となるため、手洗い、含嗽、歯磨きなどの感染予防について指導し、悪寒・発熱時の対処法を確認してください。
- 悪心・嘔吐…悪心・嘔吐時は食事を工夫するように伝えてください。強い不安を持つ患者では催吐リスクが高いため、十分な説明を行ってください。
- 下痢…脱水症状に注意し、水分補給を心がけるよう指導を行ってください。症状がひどい場合は止瀉薬の投与や輸液等の対症療法が必要となります。
- 口内炎…口の中に痛みがある、発赤がある、腫れやただれがあるときは、受診時に主治医に知らせるよう指導を行ってください。アズレンスルホン酸などの含嗽薬で対処することもあります。
- 色素沈着…主に顔面、爪、手、足など四肢末端に、色素沈着がみられることがあります。日焼けにより増悪するため、直射日光を避けたり、日焼け止めクリームを使用したりするなどの対策について説明を行ってください。抗がん剤の中止により徐々に症状は改善されていきます。
- 流涙…目が潤む、常に涙があふれる、視力低下や眼痛などの症状が出ることがあります。必要に応じて眼科の受診を勧めてください。

《注意すべき検査値》大鵬薬品 ティーエスワン総合情報サイト 適正使用ガイドより胃がん術後補助化学療法の数値を参考として記載。適応癌腫により異なります。

項目	減量・休薬を考慮	項目	減量・休薬を考慮
白血球	3000/mm ³ 未満	総ビリルビン	2mg/dL 以上
血小板	7.5万/mm ³ 未満	AST (GOT) ALT (GPT)	ULN×2.5 倍以上 (100IU/L 以上)
好中球	1000/mm ³ 未満	クレアチニン	ULN 以上

※ULN：基準値上限

山口大学医学部附属病院薬剤部作成